

校長室から (NO. 17)

季節を言葉にして届けてくれる子供



本校には、外国籍の子供がたくさんいます。みんなそれぞれの国の言葉や文化を大切にしながら、元気いっぱい本校に通っています。友達と仲良く、勉強もがんばっています。

その一人である女の子が、ある朝、「おはよう」の挨拶の次に、「校長先生、春が来ました！」と、突然言い出しました。

そういえば、この子は、1月に「校長先生、冬が来ました！」と言った子でした。その時、どうしてそう思うのかと尋ねると、「大きな氷がはっているからです」と答えました。

この度の「春が来ました！」も「ひかり（太陽）が明るいからです」とのこと。

日本の童謡「春が来た」（文部省歌）を思い出しました。

♪ 春が来た、春が来た、どこに来た

山に来た、里に来た、野にも来た♪ （作詞は、高野辰之、作曲は岡野貞一）

日本人の間でも、なんとなく忘れかけているような季節の到来を感じる心は、この子に宿っている。万国共通なんだと感心させられると同時に、この感性を大切に育ててやりたいなと思いました。